

14. インターネット上の各種サイト

<有害情報を得たときの状況>

某動画サイトでドラマを見ていたら、成人向けの動画が簡単に見られる状態でした。実際に中学生もこのサイトはよく利用するようで、目にする機会は多いと思われます。他の検索をするとひっかかるようになっている。

<有害だと感じた理由>

青少年もよく利用するサイトなので、有害な情報が目にしやすい。

<取り組んだ事例>

最近の、ケータイ、インターネットの状況の啓発、講座など。

<行政や業界へ望むこと>

フィルタリングだけでなく、自動的に有害情報は見られなくなる仕組みをつけて欲しい。例えば、成人向けの情報は登録（有料）しないと見られない、など。

(三重県・女性・20代)

<有害情報を得たときの状況>

掲示板に貼られているURLをクリックするとハイパーリンクで意図しないページへと次々に飛ぶ。

<有害だと感じた理由>

リンク先はアダルトサイトであったり動物及び人間の虐待をあおりかねない内容のものであった。

<取り組んだ事例>

むやみにリンク先をクリックしないよう年少者に対しては指導を行う。

<行政や業界へ望むこと>

学校での取り組みは大分遅れているように感じる。教師に対し情報に関する、またはその取扱に関する教育を行うべき。

(高知県・女性・30代)

<有害情報を得たときの状況>

各種サイトへ簡単に入って行ける。年齢認証は形式的であり、18才未満であっても、18才以上をクリックすれば簡単に入れる。

<有害だと感じた理由>

出会い系サイトへの誘導やそれに関わる被害に逢う可能性が高い。

<取り組んだ事例>

中学生とその保護者への啓発活動（PTA講演会での講演等）。

<行政や業界へ望むこと>

サイト管理者、発信者に対する罰則強化。児童、生徒、保護者への啓発。

(滋賀県・男性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

ネット上での学校同窓会生サイトより出会い系サイトへのリンクが容易につながると聞いています。

<有害だと感じた理由>

今日何かと問題の多い“出会い系サイト”に地域や親しみのある学校名等からのワンクリックリンクの危険性を感じました。

<取り組んだ事例>

知人等を集めてサイトを探し、家族や知人に子どもだけでの検索等をやめる様に口頭だけではあるが、伝えるようにした。

<行政や業界へ望むこと>

行政へというより自己防衛や周知の徹底、啓発に個人として取り組むべきと思う。

(佐賀県・男性・30代)

<有害情報を得たときの状況>

個人に対する誹謗中傷や殺人予告とも捉えられる内容が、インターネットの掲示板に書かれている。匿名性を逆手にとり、煽るようなことを書き続けている。また、アダルトサイトや出会い系サイトへリンクするURLも貼られているなど、有害情報が蔓延している状況にあり、子どもたちもフィルターの網をくぐり抜けて閲覧している。

<取り組んだ事例>

学校裏サイトやプロフ、モバゲータウンなどのネットパトロールを実施し、各関係機関と連携し対応に努めている。

<行政や業界へ望むこと>

サイトの管理人についての指導の強化、または特定商取引に関する情報を公開して欲しい。

(青森県・男性・30代)

<有害情報を得たときの状況>

自宅のインターネットによるメールでは、どこでアドレスを知ったのかと思うが（機械が無差別に送る方法があるようで）様々な性に関する有害情報が入ってくる。

<有害だと感じた理由>

性的な刺激と有料サイトへの誘導。

<取り組んだ事例>

警察に通報した。

<行政や業界へ望むこと>

実際に動いてくれているか疑問である。

(奈良県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

ケータイのインターネットページで、中学校名で検索したところ2年前の卒業・生徒ブログがあった。個人名、血液型等個人を特定出来る情報があり、ページ上下に、アダルト会社の広告が載っていた。

<有害だと感じた理由>

個人を特定できるもので、アダルト系に誘導目的に利用されている。

<取り組んだ事例>

その学校の先生と家族に連絡した。

<行政や業界へ望むこと>

ブログ・プロフの経営運営会社が変わっても、入会当時の契約を順守する様な業界指導。
(石川県・男性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

インターネットの掲示板やメールで悪口を書かれる事により、個人情報や写真等の無断で流される児童や生徒。

<有害だと感じた理由>

特に思春期の少女の心の痛みが心配。

<取り組んだ事例>

少女達から各種サイト情報を聞き、彼女達の「知る」範囲を把握しては、少女達の悩み等を聞いてアドバイス。

<行政や業界へ望むこと>

インターネットの利点はよく理解できるが、大人の勝手や都合でサイトを作る事への取締りというか、サイトの責任者をしっかり知り内容の取締り強化はできないものだろうか。

(岩手県・女性・40代)

<有害情報を得たときの状況>

(中学生) ネットゲームを夜中までやるため、朝起きられず翌朝は母親に腹が痛いとか適当な仮病で学校を休んでいる。

<有害だと感じた理由>

不登校の原因となっている。昼と夜が逆になり、将来社会人として適用できない人格が形成されてしまう。

<取り組んだ事例>

ネットゲームから抜け出た一般社会人に話を聞き、勇気がないと抜け出されないという事であった。

<行政や業界へ望むこと>

ネット上では相手がいるため、入り込むと抜け出すことができない。抜け出すため、又させないようにするためには、行政から学校を動かせるべきと思われる。

(鹿児島県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

プロフィールサイト等への参加。親の知らない場所で子ども達の情報交換、自由にできる悪口の書き込みなどに不安を感じている。

<有害だと感じた理由>

顔も知らない、声も聞いた事がない人が、彼や彼女になる可能性がある。

<取り組んだ事例>

親子のコミュニケーション、友人同士のコミュニケーションをはかりお互いに問題点（悪い事例を出して）を話し合った。

<行政や業界へ望むこと>

現在もPR活動はしているが、もっとDVDでの事例なども持ち、学校や団体へPR活動をして頂きたい。

(東京都・女性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

送信者が誰か分からない迷惑メールが毎日20件以上届いている。小中学生がいる家庭では、子どもたちが興味本位で開くこともあるだろう。大人でもうっかり、または興味で開いてしまう可能性もある。プロバイダーなどで発生源対策が出来ないものかと思う。

<有害だと感じた理由>

まともなメールであれば、ちゃんと受信者に分かるタイトルで送信者も明確にできるはず。迷惑メールは「出会い系（出会えない系とも言うらしい）」や「何かへの誘い」、「架空請求・詐欺メール」であると聞いている。毎日送られてくる迷惑メールはこのようなものであろう。

<取り組んだ事例>

プロバイダーに相談し「自分で迷惑メールを自動的に“迷惑メールフォルダ”へ入るようにして消去している。

<行政や業界へ望むこと>

海外経由で送信されてくるものがあるらしいが、プロバイダーでシャットアウトできるような仕組みづくりやプロバイダーから送信元を行政に報告し、司法の手で発信者を突き止め、罰則や排除命令・損害賠償請求できる仕組みづくりをして欲しい。

(愛知県・男性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

インターネット上でのユーチューブなど動画サイトで子どもがアニメを見たいと検索した際、有害なものが多い。携帯の楽天などからの配信の広告の中に出会い系など混じっている事が多い。

<有害だと感じた理由>

裸体が多い、性交為が含まれている、残虐的である。

<取り組んだ事例>

仕事で、立入りし、有害なものコーナーを作り、青少年の目に入らないよう、工夫し

てもらうなど協力の依頼をしている（毎月行う）。家庭の中では、インターネットなど、必ず家族の集まる部屋で行い有害サイトを見ない様工夫する。

<行政や業界へ望むこと>

フランチャイズ業界や、個人の業者への規制や、製造する側への規制をもっと欲しい。特に携帯関連業者には製造する際、なりすまし等の機能が使える事がおかしいので、その辺を気軽に活用できないシステムや製造上の問題点をもっと追求して欲しい。

（三重県・女性・40代）

<有害情報を得たときの状況>

インターネットのURLにいきなりメールが入ってきた。

<有害だと感じた理由>

青少年が見れば思わず開けて見たくなるようなアダルトの内容があった。その中の1つを確認しようとして開けたらいきなり会員登録されましたと出て金をしつこく請求された。

<取り組んだ事例>

地域推進員の会議で報告をしてフィルタリングの話もした。絶対に連絡しない。無視することを確認。

<行政や業界へ望むこと>

メールブロックをしようとしてもエラーが出てブロック出来ないような状態になる。警告したり罰則を課するようにできないか。

（島根県・男性・50代）

<有害情報を得たときの状況>

高校生がインターネットで知り合った男性と遊び歩き外泊をしていたことを聞く。高校生は3日位で保護され、今は普通の生活をしているとのことである。

<有害だと感じた理由>

未成年の子どもが無断で外泊し、遊び歩いていることは社会通念上好ましいことではない。

<取り組んだ事例>

学校・保護者・子ども三者がよく話し合われたようである。

<行政や業界へ望むこと>

地域の連帯感、青少年への関心の高揚が望まれる。インターネット上の規制が望まれる。

（山梨県・男性・70歳以上）

<有害情報を得たときの状況>

出会い系サイト以外に、多くの子ども達が入り好き勝手に遊んでいる。特に、ゲームサイトの中のプロフ遊びが危険。

<有害だと感じた理由>

自分を写し、送信している。（ポルノ）援交をうたっている生徒達。家出サイト上で男

性のあまい言葉につられる小学生。

<取り組んだ事例>

まず、保護者がネット上の子どもたちを知らなすぎるのが大きな原因。業者まかせのネット教室は考えなければいけないと思う。PTAの保護者に現状を話している。

<行政や業界へ望むこと>

ネットパトロール（保護者が安易にケータイを与えない様に考える教育をして欲しい）や業界への責任を考えて欲しい。

（神奈川県・女性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

インターネットでの検索エンジン（グーグル、ヤフー等）により簡単に有害情報サイトが見られる事から非常に危機感を持つ。

<有害だと感じた理由>

性的描写が直接入手可能である。

<取り組んだ事例>

18禁以下のアクセス表示の無いものについては、プロバイダー、所轄の警察へ通報する。

<行政や業界へ望むこと>

性的描写情報は徹底排除すべき（法整備を早急に）。

（青森県・男性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

普段何気なく見ている掲示板等のリンク先でも、アダルトサイトやワンクリック詐欺サイトであった。

<有害だと感じた理由>

利用していないにもかかわらず、料金の請求ページが表示されたため。

<取り組んだ事例>

インターネットホットラインセンターへの通報や、講習会での啓発活動等。

<行政や業界へ望むこと>

法整備や教育。

（福島県・男性・20代）

<有害情報を得たときの状況>

ユーチューブという有名なサイトがあります。そこで知りたい、見たいものを入力して検索すると、沢山の関連サイトがヒットします。その中に、青少年が見てはいけないサイトが含まれています。

<有害だと感じた理由>

ここは案外、保護者も油断するサイトです。なぜかというと、朝のNHKの情報番組など（街角情報室など）でもユーチューブというサイトが紹介されたりするので、有名な

サイトだからと無意識に認めてしまいます。セキュリティーソフトでユーチューブを有害サイトと認識する設定にしてあれば問題ありませんが、このサイトは案外野放しになっています。更に、セキュリティーソフトは、はじめは厳しく設定しますが、使いづら
い場面が多々あり、結局設定を甘くしてしまいます。また、このサイトは、PCのみならず携帯からも簡単にアクセス出来ます。携帯のセキュリティーは、まだまだ保護者の認識が足りません。

<取り組んだ事例>

子ども（高校生女子）の携帯は販売店で購入するときに、セキュリティーが掛けられています。PCは誰でも使える居間にTVと一緒に置いてあります。

<行政や業界へ望むこと>

携帯電話のセキュリティーに関する情報が、まだまだ行き届いていません。講習会（講演会）もよく開催されますが、参加者はほんの一握りです。同じ人ばかり。TVを通じての広報活動の徹底と、業者の販売競争を押さえる手だてが必要です。また、携帯電話のインターネットの仕組みを1から考え直す委員会を政府レベルで組織していただきたいと思います。

（長崎県・男性・50代）

<有害情報を得たときの状況>

現在のインターネットの状況は、自分の知りたい事柄や情報を容易に知ることの出来る状況にあり、アダルト的な画面も青少年の年齢確認など形だけで、興味を引くような画面から誘導されるように入っ
て見れてしまう状況である。

<有害だと感じた理由>

成人用の画像がコンピューターを使って小中学生や高校生が容易に見れてしまう。また、知らぬ間に有料のサイトを閲覧してしまっているという状況にもなりかねない。

<取り組んだ事例>

自分の子にコンピューターを使用させるなら、あらかじめフィルタリングの設定をしておくなどの対策が必要である。

<行政や業界へ望むこと>

現在の情報化社会の危険性について保護者にもっと認識を強化する目的の研修会等を設け、子ども達がコンピューターに安全で適正に関わることの出来る環境づくりが必要と考えます。

（神奈川県・男性・50代）

<有害情報を得たときの状況>

知りたいことがあり調べているだけなのに睡眠薬、麻薬、覚せい剤などの違法広告や楽にお金を稼ぐなどのバナー、今の自分がしていることがばかばかしくなるように思わせる記述などが自然と目に入ってくる。

<有害だと感じた理由>

いろいろなことに対して捻じ曲がった解釈が多いと感じます。個人の判断力を下げる要

因になっていると思います。また、最近は事件の発端がウェブというのが多いと感じています。

<取り組んだ事例>

ニュースなどで事件を知り、同じことに巻き込まれないように注意をしている。

<行政や業界へ望むこと>

言論の自由と密接にかかわるウェブだが、基本的な枠組みに関しては調整すべきだと思います。議論の場を増やすべきだと思います。

(愛知県・男性・20代)

<有害情報を得たときの状況>

出会い系サイトにおいて、あるいは掲示板(ネット上、携帯サイトに)を通じて少年少女が、援助交際や売春、買春をしている。又は、下着その他の売り買いしている。

<有害だと感じた理由>

お金欲しさ(遊ぶため)に女の子が利用し、生活が乱れる原因となっている。多くの未成年が事件にまき込まれる危険にさらされている。

<取り組んだ事例>

運営している組織や人にメールで注意を促したり、サイトと出入りしている少年少女にメールで注意している。

<行政や業界へ望むこと>

ネット、特に携帯サイトに関しては、規制を厳しくすべき。利用制限等の法規制は強化して欲しい。運営する側の規制罰則も強化すべき。

(広島県・男性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

自宅のパソコンにまったく覚えのないところからメールが届きます。「不倫願望、人妻希望、いろいろな子がいます…etc」などと書かれ、写真まで載せられたメールです。これが週に数十件ほど届きます。

<有害だと感じた理由>

小・中・高校生の子どもも使うパソコンです。メールをつないだらそのまま見れるものです。

<取り組んだ事例>

有害情報は除去されるように(プララへ)登録はしてあります。でもそれをかいくぐって送られてきます。

<行政や業界へ望むこと>

何とかして欲しい…としか言えません。

(新潟県・女性・40代)

<有害情報を得たときの状況>

信頼のあるカード会社のカード会員ホームページにリンクされているお得情報やアンケートに答えて〇名に豪華景品や有名ゲームソフトプレゼント等をクリックして見るだけで、アドレス等が盗まれ、答えて送信してしまうとそれに付随する予想外に多くの情報が流れてしまう。

<有害だと感じた理由>

その情報が悪用されている（様々な形でのサギメール）迷惑メール（数多くの）とアダルトサイト（高額なアクセス料請求）への誘い等々。ウイルス感染でパソコンの“のっとり”。情報流出とさらなる被害が広がる。

<取り組んだ事例>

自分のアドレス変更しか良い手だては見つかりませんでした。貼り付けてある様々なリンク先へのアクセスは、一旦アドレスをメモして、アドレスをキーボードで打ってアクセスした方が被害は少ない。

<行政や業界へ望むこと>

強いて言えば、貼り付けられているリンク先へはそのまますぐアクセスしてはいけない事を多数のネット利用者に知って欲しい。

（宮城県・女性・50代）

<有害情報を得たときの状況>

インターネット上のアダルトサイトはオープンな状況にあると思う。18才以上か以下かワンクリックで接続でき、何の規制にもなっていない。接続された画面には青少年には絶対影響があると思われる画像が流されている。

<有害だと感じた理由>

最近の性犯罪の増加傾向を考えた時、その要因が何かを検証することが大事である、性的刺激 → 欲望 → 体験（犯罪）の図式が考えられる。現在のIT会社は便利さの中に計り知れない危険をはらんでいる。

<取り組んだ事例>

民間では手の打ちようが無い。

<行政や業界へ望むこと>

行政は全て法律で禁止すれば世の中に存在していないと思っているのではないか。ポルノ、ワイセツ図画、売春、全て世の中に厳然と存在している。ある前提に青少年教育の在り方が問われている。

（香川県・男性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

人権擁護委員の研修会で、中学校校長による中学生のインターネット事情に関する講演を聞きました。パソコンやケータイの環境が身近になってくるにつれて、友人関係のトラブルが増えている状況が現れていることを知りました。危険なサイトへのアクセスなどについては耳にしましたが、なりすまして中傷情報を発信するなど、匿名性が悪

用されている事例などを聞くと、未恐ろしくなります。また、ケータイによるメールのやりとりに強い依存性が見られ、生活リズムの乱れを引き起こしているということです。

<有害だと感じた理由>

有害環境としての施設や設備の類は、親や大人の目に触れているので、有害性の認識は明白です。健全育成に関わる大人の見守りも具体的な活動として社会に対する啓発にもなり、青少年の健全な育成に功を奏します。ところが、インターネット環境は、最も青少年の身近にあって、周りにいる親や大人の目が届かないという弱点を持っています。さらに、今の大人は子ども時代に経験したことがない環境であり、全く思い及ばない世界です。それだけに、見過ごされてしまうという危惧を抱きます。

<取り組んだ事例>

青少年の健全育成に関わる会議等の機会に、青少年のインターネット環境に対する関心を持つ必要性を啓発しています。ただ、共感を得ることはかなり困難です。未経験であることがネックになっています。

<行政や業界へ望むこと>

実現可能かどうか分かりませんが、中学生以下の青少年に対するインターネットアドレスについては、中学生以下であることを示す記号を付加する規則を制定できないものでしょうか？匿名性の1つに年齢不詳ということがあり、自粛を求めることや、保護対象として認知するために利用できると思います。

(福岡県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

インターネットの出会い系サイトを監視していますが「18歳以下禁止」の文言はあっても実際には入っていくことが可能です。さらに、掲示板への投稿をしなくても、有害な写真や表現が氾濫しており、抜本的規制の見直しが必要と思われます。

<有害だと感じた理由>

無秩序な性的情報の氾濫により少年の健全な発達に著しい影響が及ぶ。又、過激な性描写などの情報習得が現実とのギャップを超えた欲求行動による犯罪行動への発展が危惧される。

<取り組んだ事例>

少年補導員のサイバーパトロールによるサイトの監視。

<行政や業界へ望むこと>

有害サイトの監視強化と業者への厳しい処分を望む。

(北海道・男性・40代)

<有害情報を得たときの状況>

ネットパトロール員として、EMA認定サイトやブログ、ホームページ作成サイトを利用している中高校生の書き込みを監視し、子どもたちに第三者が見ていることを意識させ、安易な個人情報の書き込みや誹謗中傷、いじめ等の書き込みに対する抑止力となることを願ってパトロールしている。

<有害だと感じた理由>

EMA認定サイトの中には、コミュニティ機能のあるサイトがあり、年齢・地域別で検索が可能。成年者は未成年者の検索は系統的に出来ないようになっているようだが年齢を偽って登録すれば可能。プロフィールを見て直接メールのやりとりができ、新たな出会い系サイトと危惧している。また、ゲームなど多彩なコンテンツがあり、利用は無料でも多額なパケット通信料請求に繋がる。

<取り組んだ事例>

ネットパトロールとして、大人の目で閲覧していることを周知し、足跡を残すことで、個人情報の書き込みの抑制を図った。学校名・写メ等本人が特定できるような書き込みは取りまとめ、県教育委員会等へ報告した。

<行政や業界へ望むこと>

継続して携帯サイトをパトロールしていくことが重要であり、行政にはパトロール員の確保をお願いしたい。業界には、未成年の登録者に対し、個人情報の重要性和パケット通信料の高額性について十分、喚起を促してもらいたい。

(長崎県・男性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

同世代(母親)からの話。電話代とは別に今までなかったような過大請求があり、親は息子が使ったものと思い支払った。が、結局、息子は使った覚えがないと分かり半年も過ぎてから騙されたと知った。

<有害だと感じた理由>

とても便利なネットと思っていたが上記の家庭ではそれ以来ネットは使用していない。

<取り組んだ事例>

同世代の集いの中で話題にする。

<行政や業界へ望むこと>

心配なく情報を得ることのできるネットであって欲しい。

(秋田県・女性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

学校裏サイトでのクラスメートに対する誹謗中傷を発見した。

<有害だと感じた理由>

学校や親が知らないところで起っていること。匿名であること。一つの書き込みで数が増えていったこと。一人が大勢の知らない人から攻撃されていること。

<取り組んだ事例>

書き込みの削除を依頼した。

<行政や業界へ望むこと>

インターネットの問題点を整理し、規制が必要なものに対して行政として対応して欲しい。

(山梨県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

サイバーボランティアでネット巡回中、青少年の利用が多いサイトから簡単にアダルトサイトに移れてしまう。そこでは無修正動画などが年齢確認もなく見れてしまう。

<有害だと感じた理由>

年齢確認機能をもたない（もったとしても現状の年齢確認はザルであるが…）。

<取り組んだ事例>

サイト情報の通報、このようなサイトについてネットモラル講演で大人に知ってもらいネット環境に関係をもってもらおう。

<行政や業界へ望むこと>

海外サーバーということもあるが取締りできないものか。業界には自由規制しかないかもしれないが、ネットカフェ等でのフィルタリングの強化、保護者へのフィルタリング義務の強化（ペナルティを考えてもいい）。

（千葉県・男性・50代）

<有害情報を得たときの状況>

突然身に覚えのない請求書が届いたので開封してみるとインターネットのアダルト関係の会社からの請求書で金額も多額で問い合わせをすると暴力的な言葉で脅され精神的なショックを受け相談を受けた。原因は小学生（女子）が誤ってパソコンを触ってしまった。

<有害だと感じた理由>

両親が共働きでパソコンを自由に触れることができた。

<取り組んだ事例>

両親にはパソコンの電源を切るなど子どもが使用できないような工夫をアドバイスした。請求書の件は警察にも相談され支払いはされておられません。

<行政や業界へ望むこと>

行政と業界関係者は悪徳な業者に対する監視等の強化を望みます。

（愛知県・男性・70歳以上）

<有害情報を得たときの状況>

どこでアドレスを調べるのか、メールが届くほとんどは迷惑メールとして開けることはないのですが、たまに間違えて開いてしまうと、しばらくの間、画面を開くたびに、サギまがいの文章で金額の請求が続いたと、友人から相談されたことがあります。「こわい」と言っていましたが、無視する様伝えた所、1ヶ月でその場面は消えたそうです。ちょっとクリックを失敗しただけで、卑わいな場面が出てきて大映しになったこともあるそうです。以前、子どもの友達がサイトをひとつ開いて（携帯電話）アクセスを1回しただけで何十万もの高額請求がきて、警察に相談した。

<有害だと感じた理由>

何も知らない低学年生などが、開いた場合、映像が過激すぎる、又、振り込めサギの様なサイトにつながる危険もある。

<取り組んだ事例>

すべて迷惑メールとして、報告をした。友人には絶対無視をする様に伝え、何かあればすぐ警察に相談する様に伝えた。

<行政や業界へ望むこと>

悪質なインターネットサイトの取締り。便利になった分、危険が多いように感じる。小学生のうちから、きちんと指導できる環境をつくる必要があると思う（何故いけないのか、どのような事態がおこり、どのように迷惑をかけるようになるのかを教える場が必要）。

(広島県・女性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

今回、インターネットをつないでいろんな情報を取り寄せることができると喜んでいましたが、いろんな有害サイトと思えるような広告等に行き当たる。

<有害だと感じた理由>

クリックしてみるとあからさまにその手の小説や写真等がでてきたため。思春期の子どもを持つ親としてどう管理すればいいのかと悩みます。

<取り組んだ事例>

特にありませんが、子どもには有害性や事件への発展等を話して理解を深めた。今後、子どもクラブ等で勉強会等を開いて上手なインターネットの使い方等指導していきたい。

<行政や業界へ望むこと>

規制を強化して欲しい。

(佐賀県・男性・40代)

<有害情報を得たときの状況>

出会い系サイト…インターネット上には、あまりに多くあり、また勝手に入ってきます。学生の立場であるにもかかわらず、だまされて（買って）自分で支払いが出来ない金額になり、親に泣きつく。

<有害だと感じた理由>

学生で収入がないのをわかっている者にローンを組ませる事。

<取り組んだ事例>

親に相談窓口に行くように話す。その子どもに親の気持ちを訴え、考え方を変えるように言った。

<行政や業界へ望むこと>

収入のない者へのローンについて、広報を。

(愛媛県・女性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

地元のPTA研究大会で「ケータイは、なぜ問題を生むのか？」という演題の講演があった。その中で「バイアグラ（薬）」が簡単に購入できるサイトがあった。

<有害だと感じた理由>

中、高生は携帯電話で各種サイトに、様々な方法で容易にアクセスできる（フィルタリングといっても完璧ではない）。このサイトは誰でも（中、高生）項目を入力するだけで、処方薬が購入できてしまう。

<取り組んだ事例>

私達大人が、インターネットの危険性を認識し、共有していく取組が必要と感じる。実際に各種サイトにアクセスして青少年に有害な情報を知る必要がある。

<行政や業界へ望むこと>

フィルタリングを完璧なものにするように、行政の目から制限していくべきだ。携帯電話会社、サイトを管理する会社、サイト運営会社の私欲を増長させない。青少年を巻き込むサイトを無くして欲しい。

(北海道・女性・30代)

<有害情報を得たときの状況>

インターネット上の各種サイト（検索サイト）からのキーワードで、とにかく性的興奮を、さらに危険を悟らせないような表現で導入口を開いている。匿名性の問題もあり、無責任かつ自己満足的な書き込み等、陰湿な快樂を求める不健全な思考が見える。

<有害だと感じた理由>

事故破滅的な行動思考に陥る恐れがある。匿名性の特徴から、自分のこととしていろいろな事態に処することをしない。生きる者（物）との接点がなく、自分に都合の良いバーチャルな世界にのめり込む。

<取り組んだ事例>

e-net caraban の講師として、学校、公民館へ「インターネット安心・安全講座」の講演を要請に応じて行っている。地域・学校協議会（中学校）の委員として、学校での状況把握と連携に心がけている。

<行政や業界へ望むこと>

インターネットのルールを、強制力をもって守らせることにして欲しい。表現の自由が青少年に与えるものを大人はもっと真剣に考えるべき。

(福井県・男性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

全国少年警察ボランティア協会より依頼を受け、サイバーボランティアとしての活動をしている時に見た。

<有害だと感じた理由>

出会い系サイトにて、18才未満の少女が、お金が欲しいので援助してください、とか成人の男性がおこづかいの欲しいJ C、J K高額で援助します、とか書き込んであり売

春の幹旋サイトだと感じた。

<取り組んだ事例>

書き込みをしている少女に対し、18才未満の児童が出会い系サイトを利用すると犯罪等に巻き込まれる恐れがあるので絶対に利用しないようにとメッセージを送った。

<行政や業界へ望むこと>

出会い系サイト規正法ではなく、出会い系サイト禁止法の制定を切に願います。

(愛媛県・男性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

インターネット上にメールアドレスを表示させたとき、毎日数十通のいかかわしいメールが入って来だした。

<有害だと感じた理由>

性風俗の乱れ、性犯罪の増加。

<取り組んだ事例>

サイバーボランティア活動。

<行政や業界へ望むこと>

サイバー警察の充実、法整備をすみやかに早くする。現在の通信（電話、メール等）は、パケット通信になっており、各パケットには、発信元情報が含まれていることを皆に知らせること！

(愛媛県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

出会い系サイトを検索中に「神待ち」の書き込みがあるサイトが多数あった。

<有害だと感じた理由>

家出少女等に対して性を代償に援助交際の場合（機会）を提供しているため。

<取り組んだ事例>

18歳未満の利用者にはそのような行為を中止するよう、また業者には法に違反している旨伝えている。

<行政や業界へ望むこと>

法で規制しても、いちごっこのため「オトリ捜査」も必要と思います。

(山口県・男性・50代)